

幸松地区公民館・幸松第二公民館

◇運営の基本方針

生涯学習拠点施設として、地域住民の身近な学習・交流活動の場として親しみをもって来館できる公民館を目指す。

◇重点施策

- 1 地域住民の健康増進と住民相互の理解と交流を深め、学習機会の充実と公民館利用の促進を図る。
- 2 家庭教育の充実と青少年の健全育成を図る。
- 3 各種関係組織・団体との連携を図りながら、事業展開を図る。

◇重点事業

- 1 こうまつ寺子屋
- 2 家庭教育学級
- 3 むかしの遊び教室
- 4 幸松地区体育祭・幸松ふれあい文化祭

幸松地区公民館

所在地 〒344-0004 春日部市牛島667番地1

TEL 048-752-6065

FAX 048-752-6065

E-mail komatsukou@city.kasukabe.lg.jp



幸松第二公民館

所在地 〒344-0007 春日部市小湊73番地1

TEL 048-761-5510

FAX 048-761-5510

E-mail komatsu2kou@city.kasukabe.lg.jp



幸
松

職 員	館 長（兼務）	今 井 達 哉
	主 査（兼務）	竹 内 好 明
	主 任（兼務）	石 井 春 花（社会教育主事）
	主 事（兼務）	段 春 菜
	フルタイム（兼務）	大 石 富美代
	フルタイム（兼務）	和 田 泉

事業名 テーマ	スポーツ広場 バドミントン・卓球の施設開放		対象	一般		定員	バドミントン6名 卓球24名	
ねらい	体育室をバドミントン・卓球の会場として無料開放し、スポーツを通じて健康増進を図ると共に地域住民の交流を深める。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ			SDGs の目 標No	3	
会場	幸松地区公民館 体育室		教材 資料等	ラケット・シャトル・球・卓球台・ネット・支柱等				
実施までの経過	公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより「ふじの里」にて、実施日の前月、前々月に案内する。				
			受付方法	新型コロナウイルス感染症防止のため 事前受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
9月6日(日) ～ 12月20日(日)	8:30～12:30	体育室を無料開放する。 第一・第三日曜日 8:30～12:30 卓球 第二土曜日 8:30～10:00 バドミントン 10:00～12:30 卓球	実技	54	134	188		
12回	48時間	54		134	188			
企画運営上の工夫	好評につき、第1・第3日曜日及び第2土曜日に行った。							
成果の 参加者 声など	初めて参加する人には常連の人が利用の仕方を教えており、準備・後片付けについても参加者同士が協力しあってスムーズに行われており、地域住民等のふれあいの場となっている。また、参加者が卓球のサークルに入ることもあり、サークル活動の活性化にもつながっている。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされたが、楽しみにしている方が多く、日によっては参加者が定員寸前になるほど盛況である。市民の交流・健康増進の場となっている事業であるので、利用者には引き続き感染症対策を行ってもらった上で次年度も続けたい。							

事業名 テーマ	子育てサロン		対 象	乳幼児とその保 護者		定 員	10組	
ね ら い	親子で気軽に立ち寄り、育児の不安・悩みなど、子育てについて共に学び、親子が集う場とする。							
協力機関 及び団体	幸松地区民生委員・児童委員協議会 更生保護女性会		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	3	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	オモチャ・絵本・工作用具等				
実施まで の 経 過	公民館だよりに掲載		PR方法	公民館だより「ふじの里」 子育て情報メール				
			受付方法	新型コロナウイルス感染症防止のため 事前受付				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月15日(水)中止	10:00～11:30	毎月第3水曜日 乳幼児を持つ家庭の親 子同士の交流・情報交換	遊び 対話	0	0	0	 	
5月20日(水)中止				0	0	0		
6月17日(水)中止				0	0	0		
7月15日(水)中止				0	0	0		
8月19日(水)中止				0	0	0		
9月16日(水)				0	2	2		
10月21日(水)				0	2	2		
11月18日(水)				2	11	13		
12月16日(水)				3	15	18		
1月20日(水)中止				0	0	0		
2月17日(水)中止				0	0	0		
3月17日(水)中止				0	0	0		
4回	6時間			5	30	35		
企画運営上 の 工 夫	毎月、季節に合わせた簡単な工作などを企画し、参加者の興味を引くよう工夫した。コロナ禍の開催であったが、会場全員のマスク着用、手指の消毒を徹底したうえで実施。							
成 果 参加者の 声 など	リピート率が高く、アットホームな雰囲気の中で、親だけではなくスタッフも、子どもたちの成長を感じることができた。参加者からは「子どもだけではなく、親もリラックスして楽しめる」などの感想をいただいた。							
課題と展望	ここ数年、参加者が伸び悩んでいる。一度参加するとリピートしてくれる親子が多いので、さらに工夫を凝らした企画を考え、参加者を増やしていきたい。 親同士・子ども同士の交流の場や、育児の息抜き・気分転換の場となっているので、今後も継続していきたい。							

幸松地区 3

事業名	こうまつ寺小屋 ①ハンカチブローチ作り ②簡単おりがみ教室 ③星空観察教室 ④マンガで読む老後の備え・その後の手続き ⑤手作りネイルオイル&アロマスプレーづくり ⑥スマイルで楽しく健康UP♪スマイルボウリング!!		対象	①②④⑤⑥一般 ③小学生とその保護者		定員	①20名 ②5名 ③30名 ④30名 ⑤10名 ⑥8名	
ねらい	市民生活に身近な素材を取り上げ、地域住民の教養を高める。							
協力機関 及び団体	①幸松婦人会 ③④生涯学習市民推進員		特色 位置づけ	③④生涯学習市 民推進員共催事 業		SDGs の目 標No	4	
会場	①②幸松地区公民館 研修室 ③④幸松地区公民館 講堂 ⑤幸松地区公民館 研修室 ⑥幸松第二公民館 大会議室		教材 資料等	①はさみ・筆記用具等 ④レジュメ ②おりがみ・のり・シール ⑤レジュメ ③レジュメ・天体望遠鏡 ⑥なし				
実施まで の経過	4月 1日(水)①企画立案 4月10日(金)①講師依頼 5月26日(火)②企画・立案 6月上旬 ②講師依頼 7月上旬 ③企画・立案 8月上旬 ⑤企画・立案 9月 5日(土)⑥企画・立案 9月上旬 ⑤講師依頼 9月 8日(火)④企画・立案・講師折衝 10月上旬 ④講師依頼 11月上旬 ③講師依頼		PR方法	公民館だより「ふじの里」 ポスター掲示・チラシ配布 公民館ブログ掲載				
			受付方法	①4月25日(土)から幸松地区公民館窓口へ参加費200円を添えて申込み ②当日直接受付 ③10月27日(火)から公民館窓口・電話申込み ④10月1日(木)から幸松地区公民館へ直接または電話で申込み ⑤12月8日(火)から幸松地区公民館へ参加費1,000円を添えて直接申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月30日(土)中止	14:00～16:00	ハンカチブローチ作り	実習	0	0	0	幸松婦人会手工芸委員	
8月12日(水) 中止	10:00～12:00	簡単おりがみ教室	実習	0	0	0	中山 ナホ子及び職員3名	
11月21日(土)	17:00～19:00	星空観察教室	講義・実習	10	23	33	草加天文愛好会 三田 明	
11月26日(木)	10:00～12:00	マンガで読む老後の備え・その後の手続き講義	講義	7	21	28	生涯学習市民推進員(行政書士) 赤堀良孝	
12月5日(土)	10:00～11:30	スマイルボウリング	実習	0	8	8	公民館職員	
1月23日(土)中止	10:00～12:00	ネイルオイル・スプレー作り	実技	0	0	0	aromatic life 松本利枝	
6回	11時間30分			17	52	69		
企画運営上の工夫	①②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ③天体望遠鏡等を使った天体観測を行うことで、子どもたちに天体観測への興味・関心を持ってもらうきっかけとした。 ④生涯学習推進員と協同で企画。内容はマンガを用いてわかりやすく実用的な内容としてもらった。 ⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ⑥気軽にできる軽スポーツを体験してもらうことで、スポーツを身近に感じ、健康についての意識を持てるようにする。							
成果参加者の声など	①②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ③天候に恵まれ、絶好の天体観測日和になり、参加者が楽しむことができた。 ④参加者の関心は非常に高く、キャンセル待ちが相次いだ。 ⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ⑥和気あいあいと楽しくプレイできた模様。「とても楽しかった」「毎月開催してほしい」「1時間半でしたが運動した充実感がある」との意見をいただいた。 							
課題と展望	①手工芸に関する要望が多いため、関係団体に依頼し継続していく。 ②講師が一人であるため、教える人手として職員のサポートが必要であった。今後は職員に事前の研修を行う必要がある。 ③毎年参加者数が多く、親子で楽しめる企画として来年度も実施を検討したい。 ④エンディングノートや遺言書の書き方などより掘り下げた講座が求められており、今後も開催について検討したい。 ⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、複数の参加希望者がいたため、来年度も開催を検討したい。 ⑥募集人数が少数であったため直ぐに定員に達した。今後は人数の増加、回数など検討したいと思う。							

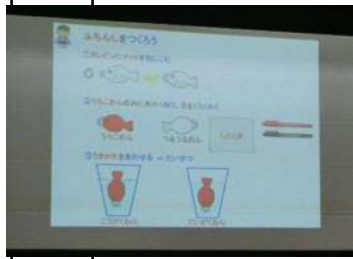
事業名 テーマ	むかしの遊び教室		対象	一般		定員	定めず
ねらい	むかしの遊びを通して、地域住民の交流を深めると共に世代間の交流を図る。						
協力機関 及び団体	幸松松寿会・幸松婦人会・ダディーズの会・ふれあい大学30期・郷土資料館・個人ボランティア		特色 位置づけ	青少年対策関連 事業		SDGs の目 標No	4
会場	幸松地区公民館 講堂・体育室・談話コーナー・ロビー・和室		教材 資料等	ベーゴマ・大根鉄砲・割り箸鉄砲・竹馬・羽根つき・なわとび・こま・竹とんぼ・けん玉・おはじき・ビー玉・わなげ・お手玉・バルーンアート・紙芝居・連珠五目並べ・将棋・折り紙・あやとり・マグネットダーツ・リサイクルロケット・むかしの道具・とん汁・おいなりさん			
実施までの経過	3月3日(火) 企画・立案・指導者折衝 4月1日(水) 公民館だよりに掲載 4月22日(水) 指導者依頼通知 5月29日(金) 講師あてに中止の通知発送		PR方法	公民館だより「ふじの里」4月号掲載			
			受付方法	申し込み不要(当日先着順)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
6月27日(土)	9:30～14:00	むかしの遊びを体験	実習	0	0	0	幸松松寿会(遊び) ダディーズの会(遊び) 幸松婦人会(遊び) 幸松婦人会(調理) 個人ボランティア ふれあい大学30期 郷土資料館
1回	4時間30分			0	0	0	
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
成果参加者の声など	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
課題と展望	近年参加者が減少傾向にあるため、開催日程や内容について精査し、来年度の開催を計画していきたい。						

幸松地区 5

事業名 テーマ	幼児家庭教育学級 わくわく！リトミック		対 象	未就学児のとその保護者		定 員	各10名	
ね ら い	幼児期の発育を正しく理解し、家庭における教育の在り方について学ぶ。							
協力機関 及び団体	更生保護女性会(託児)		特 色 位置づけ	託児あり		SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等					
実施ま での経 過	5月中旬 企画・立案 5月下旬 講師派遣依頼 6月上旬 講師派遣依頼 6月下旬 講師打合せ 新型コロナウイルス感染 拡大防止のため、講師より 中止の連絡を受ける		PR方法					
			受付方法					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月30日(水)	10:00～11:00 (6か月～1歳半) 11:00～12:00 (1歳半～)	手作り楽器演奏 ボール遊び等 手作り楽器演奏 歌遊び、折り紙等	交流 活動	0	0	0	NPO法人リトミック 研究センター公認 講師 栗岡 一矛	
				0	0	0		
				0	0	0		
				0	0	0		
1回	2時間00分			0	0	0		
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
成 果 参加者の 声 な ど	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止をしたが、毎回多数の参加が見込まれるため、来年度も子育て世代のニーズを把握し、開催を検討したと考える。							

事業名 テーマ	幸松地区体育振興会 ①第7回ウォーキング講習会・卓球バレー ②第11回幸松地区グラウンドゴルフ大会 ③第18回スマイルボウリング大会		対 象	①地区在住者(小学生以上) ②地区在住の成人 ③地区在住者(小学4年生以上)		定 員	未定
ね ら い	地区内住民が気軽に参加でき、高齢者をはじめあらゆる年代層で楽しめるスポーツ大会を開催することにより、住民の健康と体力の向上及び親睦をはかり健全な地域の発展をめざす。						
協力機関 及び団体	①②③幸松地区体育振興会 ③春日部市食生活改善推進員協議会 幸松地区		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	3.4
会 場	①幸松地区公民館 講堂 ②牛島小学校 校庭 ③幸松地区公民館 体育室・プレイ ルーム・会議室A(休憩・食事)		教 材 資 料 等				
実施まで の 経 過	4月18日(土)	第1回体育振興会理事会(新型 コロナ拡大予防のため資料 を送付)	PR方法	未定			
	5月16日(土)	体育振興会総会 (新型コロナ感染予防のため書 面決議で対応)	受付方法	未定			
	5月23日(土)	第2回体育振興会理事会 (新型コロナ拡大予防のため資 料を送付)					
	8月 1日(土)	体育振興会臨時理事会 (8/1開催の理事会にて①②③ 中止が決定)					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月8日(土)	13:30～14:30	ウォーキング実技指導	実習	0	0	0	幸松地区体育振興会
8月8日(土)	14:30～15:30	卓球バレー	実習	0	0	0	幸松地区体育振興会
11月29日(日)	9:00～15:00	グラウンドゴルフ大会	競技	0	0	0	幸松地区体育振興会
12月13日(日)	10:00～12:00	スマイルボウリング大会	競技	0	0	0	幸松地区体育振興会
3回	10時間00分			0	0	0	
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
成 果 参加者の 声 など	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
課題と展望	近年参加者が減少傾向にあるため、来年度は新しい事業の実施を検討している。						

幸松地区 7

事業名 テーマ	小学生サイエンス教室 「浮沈子を作ろう」		対 象	小学生		定 員	20名	
ね ら い	子どもたちが実験や工作に興味をもち、楽しく学習することができる機会を提供する。							
協力機関 及び団体	わくわく科学クラブ		特 色 位置づけ	夏休み開催事業		SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	レジュメ等				
実施までの 経 過	6月1日(月) 公民館だよりに掲載 6月17日(水) 打合せ 6月30日(火) 講師依頼 7月16日(木) 申し込み開始		PR方法	公民館だより「ふじの里」6月号 地区内小学校へチラシ配布				
			受付方法	7月16日(木) 午前9時～幸松地区 公民館窓口に参加費200円を添えて申込(先着順)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
8月13日(木)	10:00～11:30 10:45～11:30	浮沈子のしくみ 浮沈子の作成	講義 実習	9	11	20	わくわく科学クラブ 	
1回	3時間			9	11	20		
企画運営上 の 工 夫	・子どもたちが実験や工作に興味をもち、楽しく学習することができる機会を提供した。 ・夏休みの自由研究に使うことができるようにした。 ・製作したものを家に持ち帰り、繰り返し楽しめるようにした。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年までの対面する席配置を避け、教室形式の席配置にした。							
成 果 参加者の 声 など	「浮沈子が回るのが楽しかった」「今度は違う種類の浮沈子をやってみたい」と参加した児童7人中6人が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答。また、保護者からも「大人でも不思議な面白さがあった」「子供と楽しくすごせた。」との意見があった。							
課題と展望	アンケート結果を見ると、今回のような自分で作って遊べるものの需要が高いことが分かった。 来年度も小学生のニーズに合わせて事業を実施したい。							

事業名 テーマ	第66回幸松地区体育祭		対 象	幸松地区内住民		定 員	定めず	
ね ら い	地区内住民が気軽に参加できる、地域をあげての体育・レクリエーションの祭典で、住民が主体となって開催し、健康と体力の向上及び親睦を図り健全な地域の発展をめざす。							
協力機関 及び団体	幸松地区自治会連合会・幸松地区体育振興会		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	3.11.17	
会 場	東中学校 校庭		教 材 資 料 等	競技用具一式				
実施までの経過	6月19日（金）スポーツ推進課より体育祭中止の通知受領		PR方法	未定				
			受付方法	未定				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
10月11日(日)	9:00～15:30	内容未定	競技	0	0	0		
1回	6時間30分			0	0	0		
企画運営上の工夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止							
成 果 参加者の声など	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止							
課題と展望								

事業名 テーマ	第32回 幸松ふれあい文化祭	対 象	公民館利用者及び幸松地区に在住・在勤・在学する方で、文化祭の趣旨にご賛同いただける方			定 員	定めず
ね ら い	地域の住民の文化・スポーツ活動の学習成果の発表の場及び地域住民のふれあいの場とする。						
協力機関及び団体	主管:第32回幸松ふれあい文化祭実行委員会 協賛:幸松地区自治会連合会	特 色 位置づけ				SDGs の目 標No	4.11.12.1 7
会 場	幸松地区公民館 全館	教 材 資 料 等					
実施までの経過	6月1日(月) 公民館だよりに掲載 7月7日(火) 申込受付開始 8月下旬 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止を発表	PR方法	公民館だより「ふじの里」 6月号掲載				
		受付方法	7月7日(火)～8月15日(土)の間に窓口の申込用紙に記入の上提出				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月14日(土)	13:00～16:00	展示・体験・食品販売・ステージ発表		0	0	0	
11月15日(日)	10:00～15:30			0	0	0	
1回	8時間30分			0	0	0	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
課題と展望	今後もコロナ禍で開催自体が危ぶまれるため、オンラインで開催するなど文化祭の代替案を検討する必要があると考える。						

事業名 テーマ	小・中学生期家庭教育学級		対 象	小・中学生の保護者及び家庭教育に関心のある人		定 員	未定
ね ら い	小・中学生期における家庭教育の重要性を認識するとともに、親として望ましい在り方を理解し、明るく豊かな家庭づくりを目指す。						
協力機関 及び団体	共催：東中学校・同PTA、幸松小学校・同PTA、牛島小学校・同PTA、小淵小学校・同PTA 更生保護女性会（託児）		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	未定			
実施まで の 経 過	7月中旬 小中学校PTA役員あてに 連絡(開催のめどが立た ず中止を決定)		PR方法	未定			
			受付方法	未定			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
12月上旬	10:00～12:00		講演	0	0	0	
1回	2時間00分			0	0	0	
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。						
課題と展望	小・中学生期の子供を持つ親御さんの力になれるような講演を実施できるよう、PTA役員の方と連携して来年度も開催していきたい。						

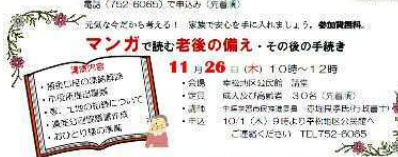
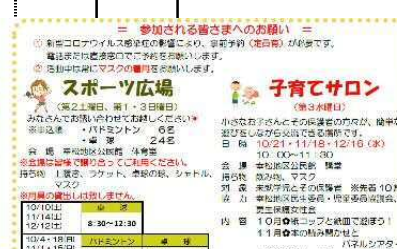
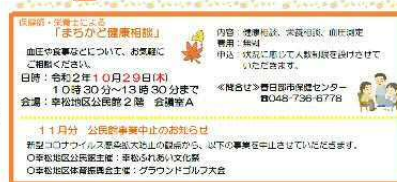
幸松地区 11

事業名 テーマ	小学生料理教室 チョコレートのパンをつくろう！！		対 象	小学校4～6年生の 男女		定 員	12名	
ね ら い	実習を通して異なる学校・学年の子供同士の交流の機会をつくり、コミュニケーション能力の向上を目指し、社会性を養う。また、自分で作ったものを食べることで、料理をつくる楽しさや、食べ物大切さを学ぶ。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 調理室		教 材 資 料 等	レシピ				
実施まで の 経 過	9月上旬 企画・立案 9月下旬 打合せ・講師依頼 12月1日(火) 公民館だよりに掲載 12月15日(火) 申込開始 1月中旬 新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止 を検討		PR方法	公民館だより「ふじの里」12月号掲 載				
			受付方法	12月15日(火)から1月20日(水)まで に幸松地区公民館窓口に材料費 を添えて直接申込み(先着順)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
2月13日(土)	10:00～12:00	チョコレートパン作成	実習	0	0	0	手ごねパンサークルbake 本田 さなえ	
1回	1時間15分			0	0	0		
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
課題と展望	今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、利用者の中には興味を示してくれた人も多数いたため、今後も子どもが興味関心を示すような内容を検討したい。							

事業名 テーマ	利用者のつどい		対 象	公民館利用団体	定 員	各団体 2名以下	
ね ら い	公民館利用者と公民館の連絡及び利用者相互の交流の場とする。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等				
実施まで の 経 過	12月15日(火) 窓口にて案内開始 1月中旬 新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止		PR方法	利用団体へ案内文を配布			
			受付方法	12月15日(火)から1月14日(木)ま でに公民館窓口にて受付(各団体2 名まで)			
月 日 (曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月21日(木)	10:00～11:30	公民館利用に関すること サークル・団体運営に関すること スマホで施設予約	説明 説明 説明	0	0	0	職員説明・質疑応答 職員説明・質疑応答 職員説明・質疑応答
1回	1時間半			0	0	0	
企画運営上 の 工 夫	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・代替として「令和3年度 春日部市幸松地区・幸松第二公民館利用案内」を参加希望者の自宅へ郵送した。						
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
課題と展望	今後も利用者にとって部屋の申し込み手続き等がしやすく、多くの方が効率良く公民館の利用ができるようにしていきたい。						

事業名 テーマ	人権問題研修会	対象	公民館利用団体	定員	各団体2名以下		
ねらい	私達の身近にある、様々な人権問題を正しく理解し、差別に対してどう行動すればよいか考え、学ぶ。						
協力機関 及び団体	社会教育課	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	10		
会場	幸松地区公民館 講堂	教材 資料等	人権研修ビデオ				
実施までの経過	12月1日(火) 人権研修ビデオ借用依頼 1月中旬 新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止を検討	PR方法	利用団体へ案内文を配布				
		受付方法	12月15日(火)から1月14日(木)までに公民館窓口にて受付(各団体2名まで)				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月21日(木)	11:30~11:55	人権研修 人権啓発DVD 無関心ではいけない！ 障害者の人権 障害者差別解消法を理解する」	鑑賞	0	0	0	DVD
1回	24分			0	0	0	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止						
課題と展望	利用者のつどいと同時に開催しているため、参加者が利用者のつどいに参加している人に限定されてしまっている。今後はその他の方にも参加してもらえるような方法を考えていきたい。						

事業名 テーマ	こうまつ音楽祭		対 象	一般		定 員	各70人	
ね ら い	誰もが楽しめる楽曲による音楽鑑賞会を開催し、芸術文化に親しむ機会を提供する。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4	
会 場	幸松地区公民館 講堂		教 材 資 料 等					
実施ま での 経 過	9月中旬 企画・立案・出演折衝 11月中旬 打合せ 11月下旬 講師依頼 12月1日(火) 公民館だよりに掲載 1月中旬 新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止を 検討		PR方法	公民館だより12月号・館内ポスター チラシ				
			受付方法	1月13日(水)より幸松地区・第二館 窓口にてチケットを配布(先着順)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
2月6日(土)	13:00～13:30 14:00～14:45	第1部(大正琴) 第2部(弦楽器演奏)	演奏	0	0	0	琴藤会 春日部交響楽団	
1回	1時間45分			0	0	0		
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
課題と展望	コロナ禍により演奏会が中止になったが、今後もこのような状態が続くようであれば開催方法を精査する必要があると考える。来年度も幅広い年代に親しんでもらえるような楽曲を提供し、芸術文化に触れる機会の創出を検討する。							

事業名 テーマ	公民館だより「ふじの里」発行	対 象	幸松地区全戸	定 員	—
ね ら い	幸松地区内住民への公民館事業及び地域行事の情報提供を行う。				
協力機関 及び団体		特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	4
会 場		教 材 資 料 等			
実施までの経過	偶数月下旬 編集会議 偶数月下旬～翌月上旬 作成 奇数月下旬 印刷 奇数月下旬 公民館だより配布	PR方法		受付方法	掲載依頼記事は、前月の10日まで
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者 男 女 合計	講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			計 計	
年6回偶数月発行		公民館主催事業等の 情報などを提供 幸松地区8,700部を配布			
		     			
6回					
企画運営上の工夫	公民館事業については見やすく、興味をもたれるような紙面づくりを心掛けた。利用サークルの会員募集や、他の公民館・他課の情報も出来る限り掲載するようにした。掲載内容が多い月はA3の用紙サイズとすることで、見やすく情報提供することを心掛けた。				
成 果 参加者の声 など	主催事業の参加者にアンケートをとると、事業を知ったきっかけは公民館だよりという回答が大半を占める。公民館だよりの発行は、地域住民にとって、公民館事業を知る主な手段となっている。				
課題と展望	事業実施報告や参加者の声なども掲載する紙面や見やすい紙面作りを考えたい。				